

感染症週報〔市内週報 平成23年第42週〕

結核・感染症発生動向調査

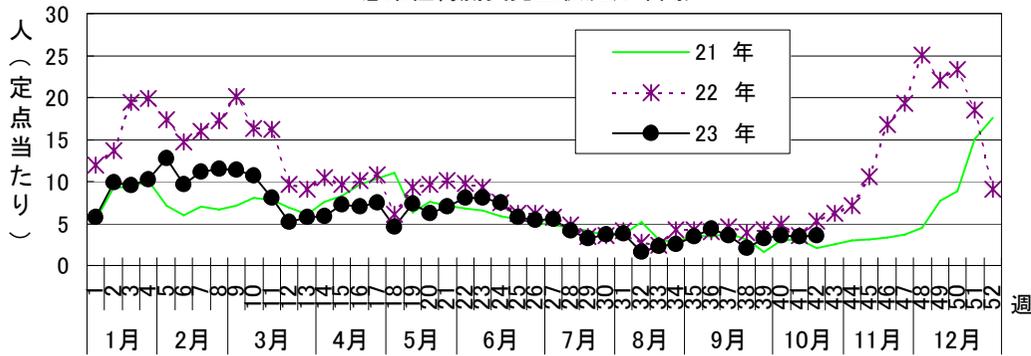
平成23年10月25日

平成23年第42週感染症発生状況【川崎市内】

平成23年10月17日～平成23年10月23日

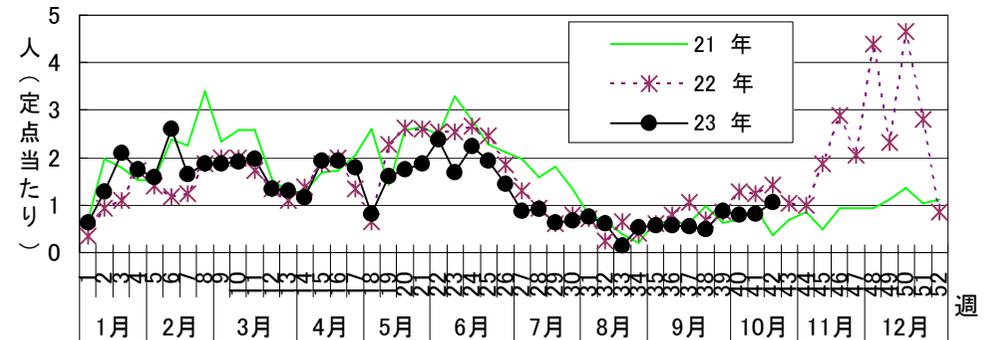
5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成23年第1週以降)
<p>第42週で患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 水痘 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。</p> <p>感染性胃腸炎は定点当たり3.55人と前週(3.39)より患者報告数はやや増加していますが、例年に比べると低いレベルで推移しています。</p> <p>水痘は定点当たり1.12人と前週(0.55)より患者報告数は増加しており、過去10年間の同時期と比較すると、今年は最も多い報告数となっています。</p> <p>細菌性赤痢の発生届が1件(感染経路: 不明、感染地域: 日本国内)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 4件	結核 347件
	3類感染症	細菌性赤痢 1件	細菌性赤痢 3件 腸管出血性大腸菌感染症 23件
	4類感染症	レジオネラ症 1件	レジオネラ症 10件 E型肝炎 1件 デング熱 5件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 6件 ウイルス性肝炎 3件 急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4件 後天性免疫不全症候群 13件 梅毒 9件 風しん 10件、麻しん 9件

感染性胃腸炎発生状況(3年間)

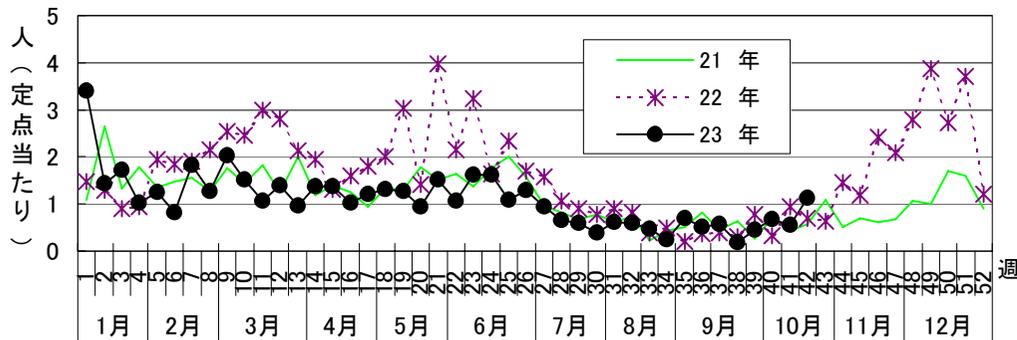


※今週はIDWRの「注目すべき感染症」の記事の掲載はありませんでした。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



川崎市における腸管出血性大腸菌感染症届出件数

